

南信教育事務所だより

第6号

1月10日(金)発行



# 共鳴

新しい年になりました。学校では1年間のまとめをすると共に、来年度に向けた構想をされる頃と思います。

今回は5号に引き続き、子どもたちと共に歩む素敵な先生方の姿、各種研修で生まれた共鳴についてお届けします。

## 学校訪問で出会った、素敵な先生方を紹介します。



### 具体物を使って、子どもの声を引き出すK先生

ミニカー見せながら、「この車はなんですか」と、車について知っていることを問うK先生。すると、「東京に行く時にバスに乗った!」「クレーン車は高いビルの工事に使うんだよ!」など、次々に発言し、「車のひみつをしらべよう」という学習問題に迫っていった子どもたち。具体物を使って、子どもの生活経験を基に発言する姿を引き出す工夫を学びました。



「教科書の本文を書いた模造紙でみんなの視線を集める」、「板書と同じ形式の学習カードを用意する」など、「見てわかる支援」がありました。K先生のクラスには日本語の理解が不十分な外国籍の児童もいます。どの子も参加でき、わかる授業づくりの大切さを学びました。

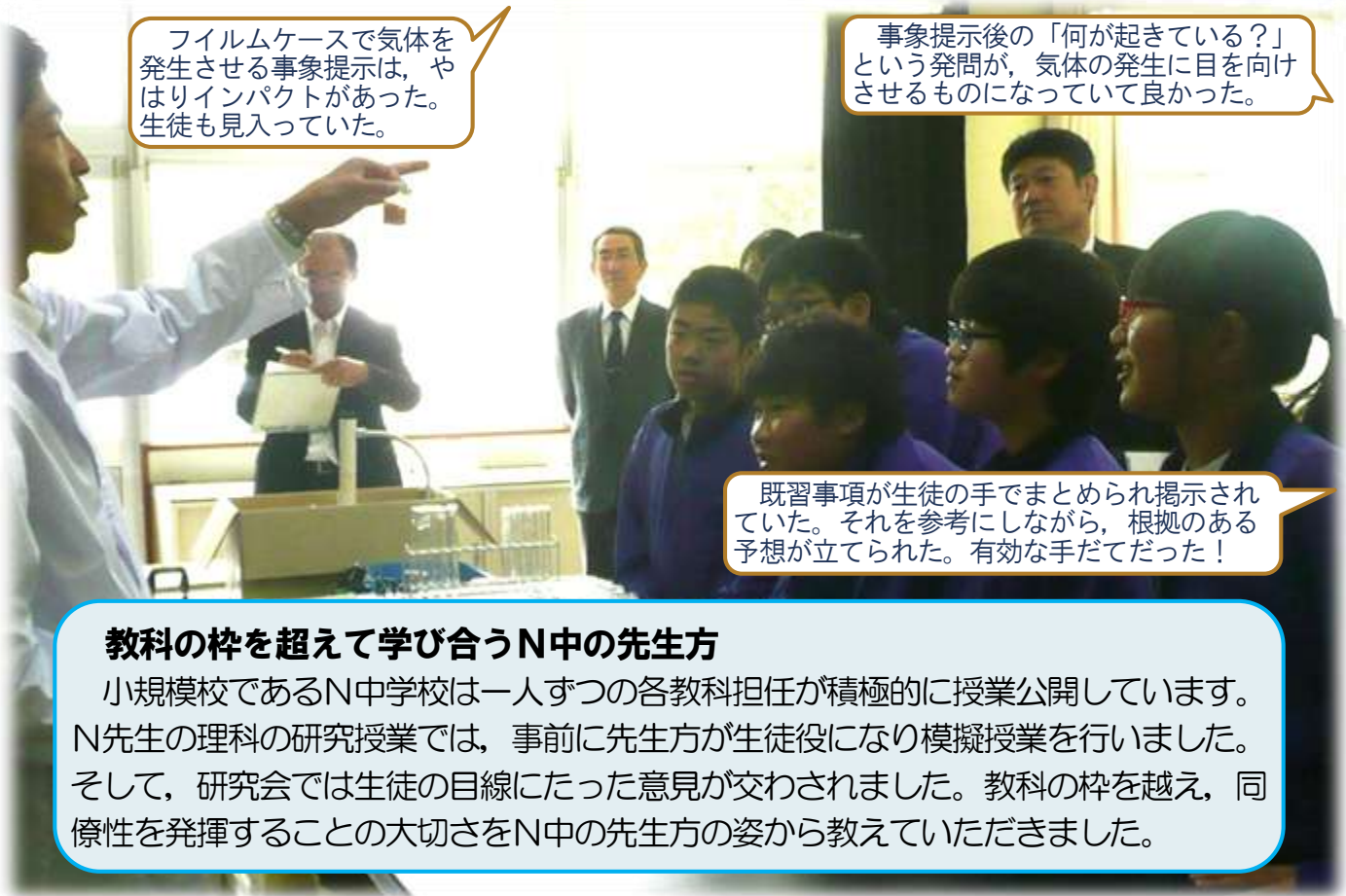


here を付ける  
といいよ。

「この地域で」と表  
したいんだけど？

やった。ALT の先  
生にも伝わったよ。

**「身近なことだから表現したい！」 生徒の思いを支えるT先生**  
 T先生の授業では、生徒たちが英語でどんどん伝えようとします！  
 「習った英語で興味のあることを表現できる単元構成」「友だちと伝え方をじっくり考え合える場面設定」そして「T先生やALTのJ先生が丁寧に教えたり励ましたりしてくれる安心感」  
 生き生きと表現する生徒の姿から、これらの秘訣を教えてくださいました。



フィルムケースで気体を発生させる事象提示は、やはりインパクトがあった。生徒も見入っていた。

事象提示後の「何が起きている？」という発問が、気体の発生に目を向けさせるものになって良かった。

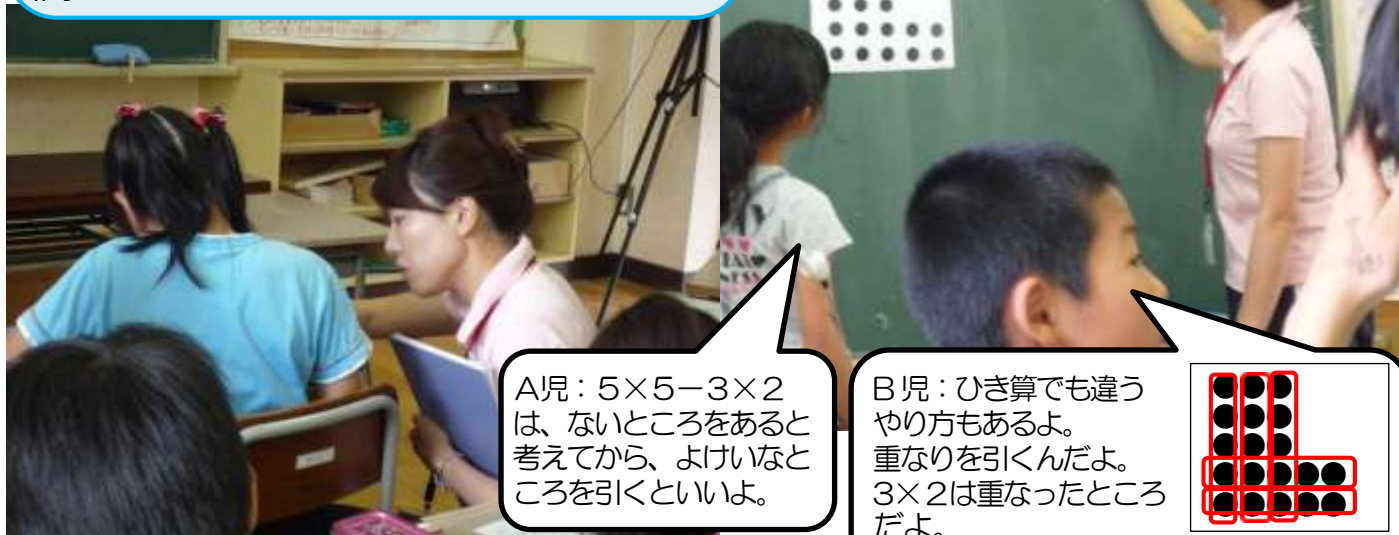
既習事項が生徒の手でまとめられ掲示されていた。それを参考にしながら、根拠のある予想を立てられた。有効な手だてだった！

**教科の枠を超えて学び合うN中の先生方**  
 小規模校であるN中学校は一人ずつの各教科担任が積極的に授業公開しています。N先生の理科の研究授業では、事前に先生方が生徒役になり模擬授業を行いました。そして、研究会では生徒の目線にたった意見が交わされました。教科の枠を越え、同僚性を発揮することの大切さをN中の先生方の姿から教えてくださいました。

### 子どもの声から授業をつくるY先生

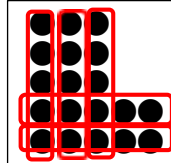
4年「式と計算のじゅんじょ」の授業。引き算を使うA児の考えをもとにしたB児のつばやきを取り上げることで、式の意味を考え合い、共同追究を深めていました。子どもの意識をとらえ、子どもの声から授業づくりをすることの大切さを教えられました。

同じひき算でもやりかたが違うんだね



A児：5×5－3×2は、ないところがあると考えるから、よけいなところを引くといいよ。

B児：ひき算でも違うやり方もあるよ。重なりを引くんだよ。3×2は重なったところだよ。



### 授業作り研修会

11月29日(木) 諏訪合同庁舎

#### ○グループ懇談会

「悩みを語り合おう、実践に学び合おう」

#### ○演習

「授業を構想しよう(指導案づくり)」



#### 参加者の声

- ◆何より「仲間」が増えたことがよかったです。
- ◆「私もがんばろう!」と思える研修でした。
- ◆「どんなことが良い学級をつくるのか?」について、貴重な意見をいただきました。
- ◆一つ一つ、私の疑問や提案につきあっていただき、自信につながりました。
- ▶授業について、一本、筋が通った感じがしました。

## 外国籍等児童生徒指導研修会Ⅱ

平成25年11月25日(月) 14:00~16:00 実施

本年度2回目の研修は、飯田市立旭ヶ丘中学校を会場に授業参観を通して学び合いました。



### 参加者の声より

- ライブ映像で授業参観させていただいたことで個別指導の様子がよく分かりました。(日本語教室担当：小)
- 助詞カードや意思表示カードなど明日からさっそく使えるヒントを頂きました。(日本語教室担当：中)
- こうした研修会に、学級担任ももっと多く参加して、日本語教室担当と連携できたらいいなと思いました。  
(学級担任：小)

来年度も充実した研修を企画していきます！

## 人権教育連絡協議会

高等学校で授業を公開していただき、授業や人権教育の在り方を考え合うことができました

11月1日(金) 於：赤穂高等学校

○授業公開

○研究協議：「地域に根差した人権教育の取組と課題」

- 高校生の素直で温かな挨拶に感激しました。
- 生徒の間で教えたり聞いたりなど、声を掛け合う姿が印象的でした。
- 学校を開こうとする取組が地域に根差した人権教育の素地になると感じました。



- 「人権教育だから」でなく、「日々の生徒との関わりそのものが人権教育になる」と強調されていたのが印象的でした。
- 高校での人権教育を知り、改めて人権教育のつながりを考えなければと思いました。

12月5日(木) 於：諏訪実業高等学校

○授業公開

○研究協議：「諏訪実業高校の人権教育」発表・協議

南信教育事務所

〒 396-8666 伊那市荒井3497 伊那合同庁舎内

TEL 0265-76-6860 FAX 0265-76-6859

76-6861 メール nanshinkyo@pref.nagano.lg.jp